特集 vol.3

roots shawl BIG

(cotton)

tamaki niime の原点！

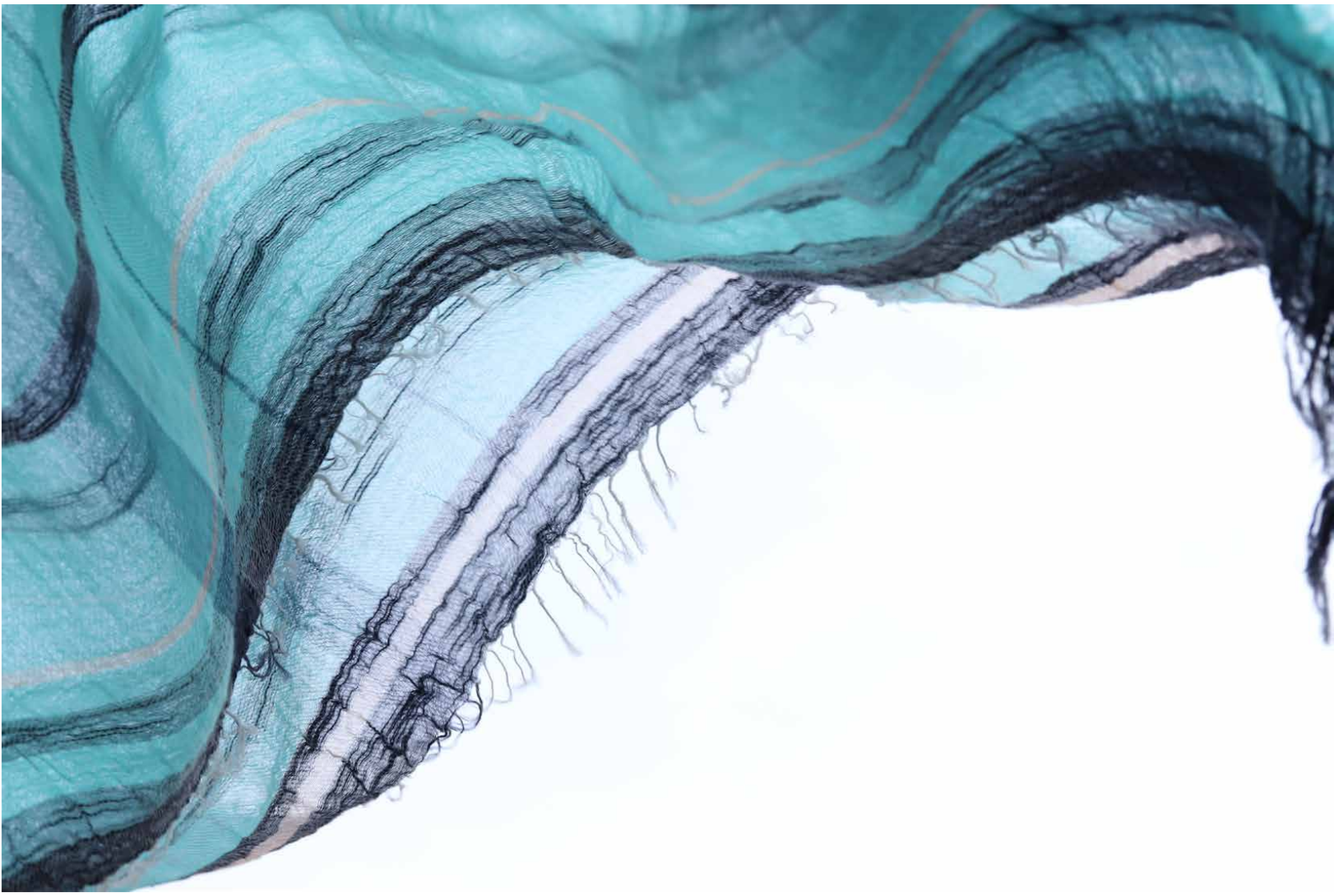
ショールの登場です。

tamaki niime の歴史はショールから始まりました。

気持ちよくて、ふわふわで、

いろいろ使えるショールを

満を持してご紹介していきます！



ふわっと風に揺れるショール

暑い日は日除けに

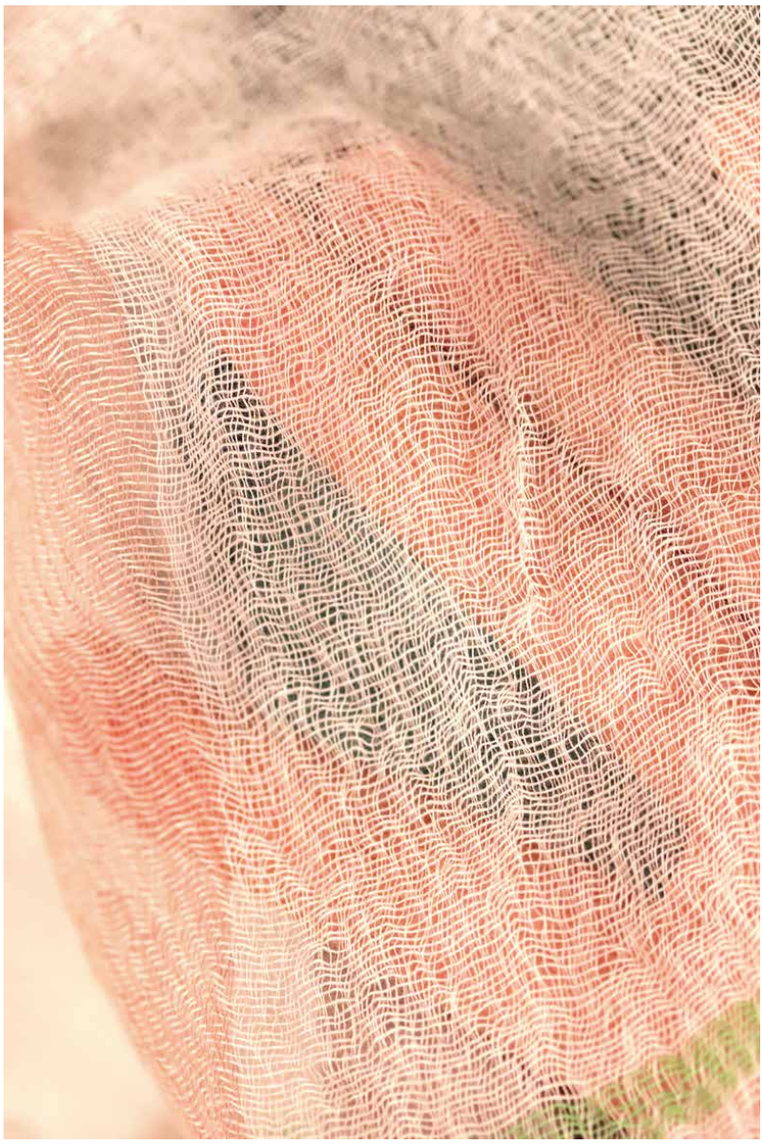
室内では冷房よけに

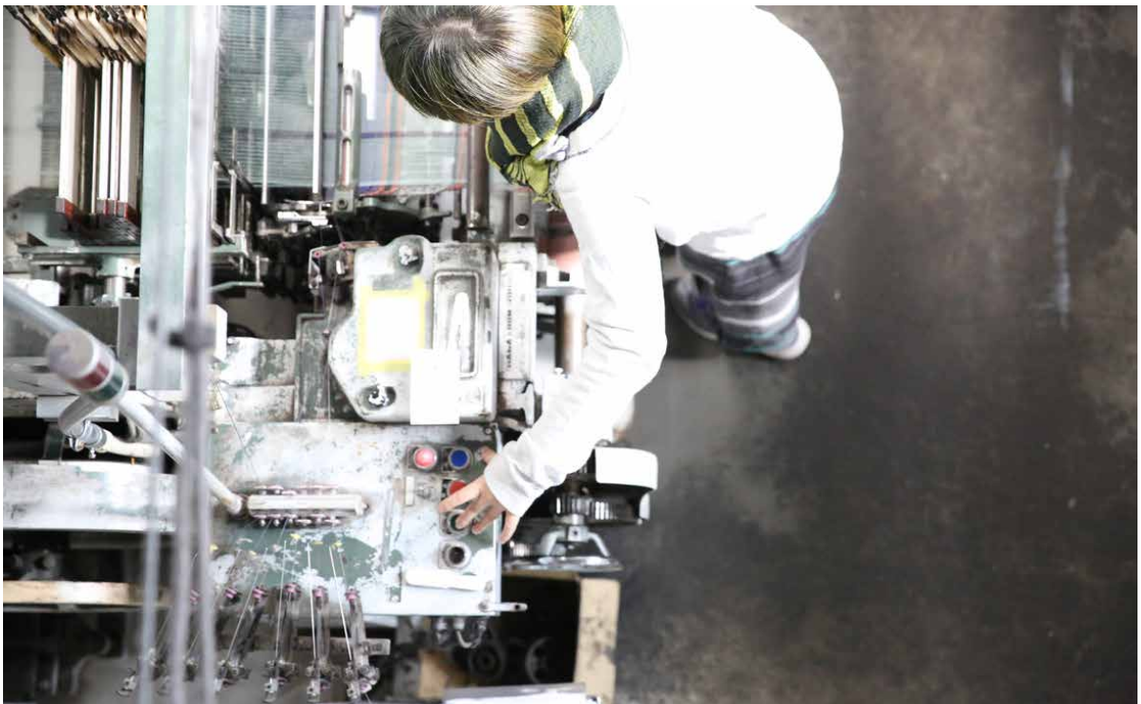
他にないやさしい肌ざわり

tamaki niime のショールの特徴は
肌ざわりの良さとイッテンモノであること。

初めからショールをつくろうと思っていたのではなく、
着心地の良い布を追求した結果、
とても気持ちの良い、
けれどウエアには向かない布ができ、
ショールにぴったり！とひらめき、ショールになりました。

tamaki niime のショールは、こんなにゆるい生地です。
普通はここまでゆるい生地は織れないと敬遠されるので、こんな生地をつくれるのは tamaki niime だけです。

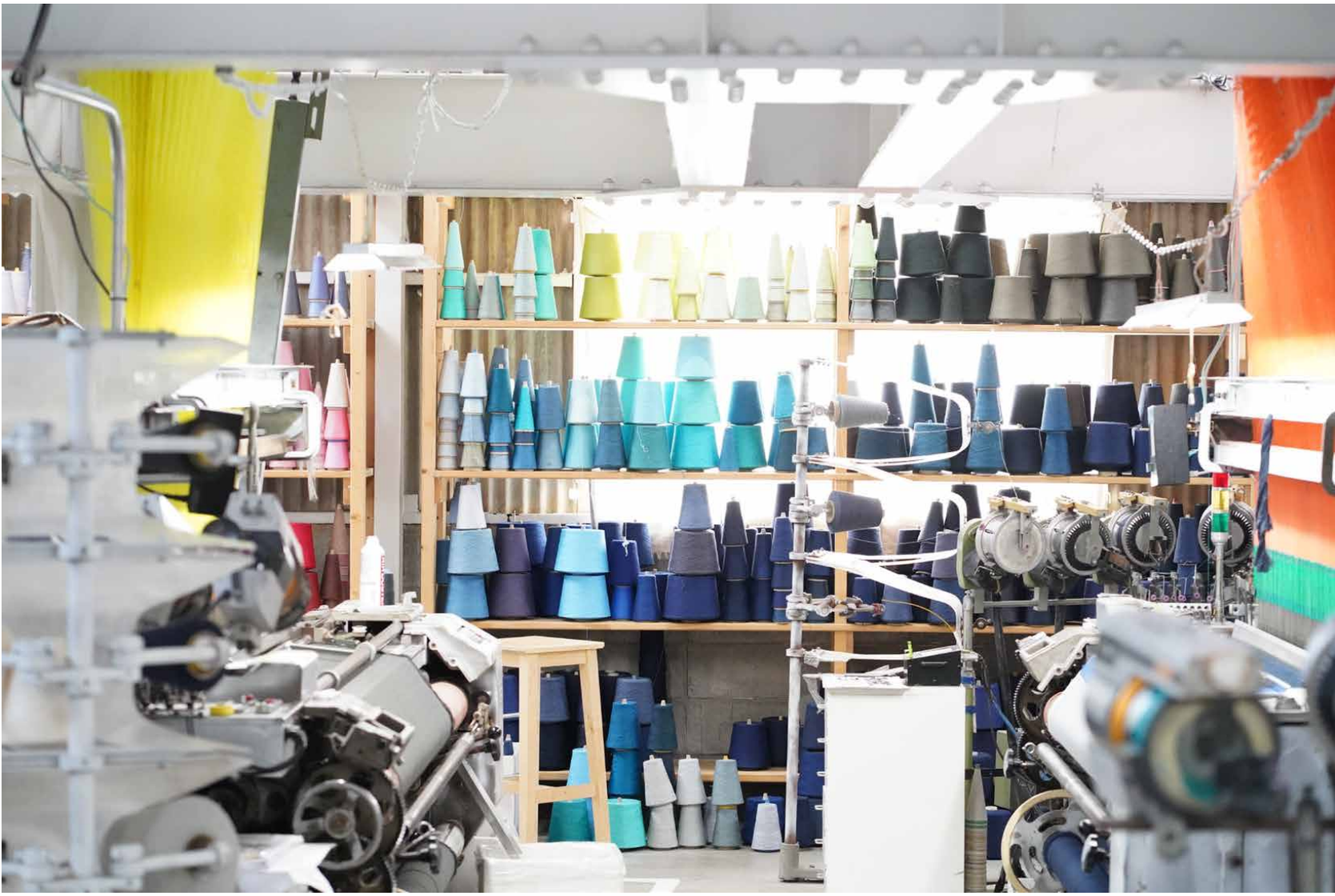




roots shawl は 1980 年代の機械を使って織っています。
昔の機械なので織る速度が遅いのですが、それをさらに
限界まで遅くして織ることで、やわらかく空気を含んだ
ショールになります。
ゆっくり織っているので、たくさんはできません。

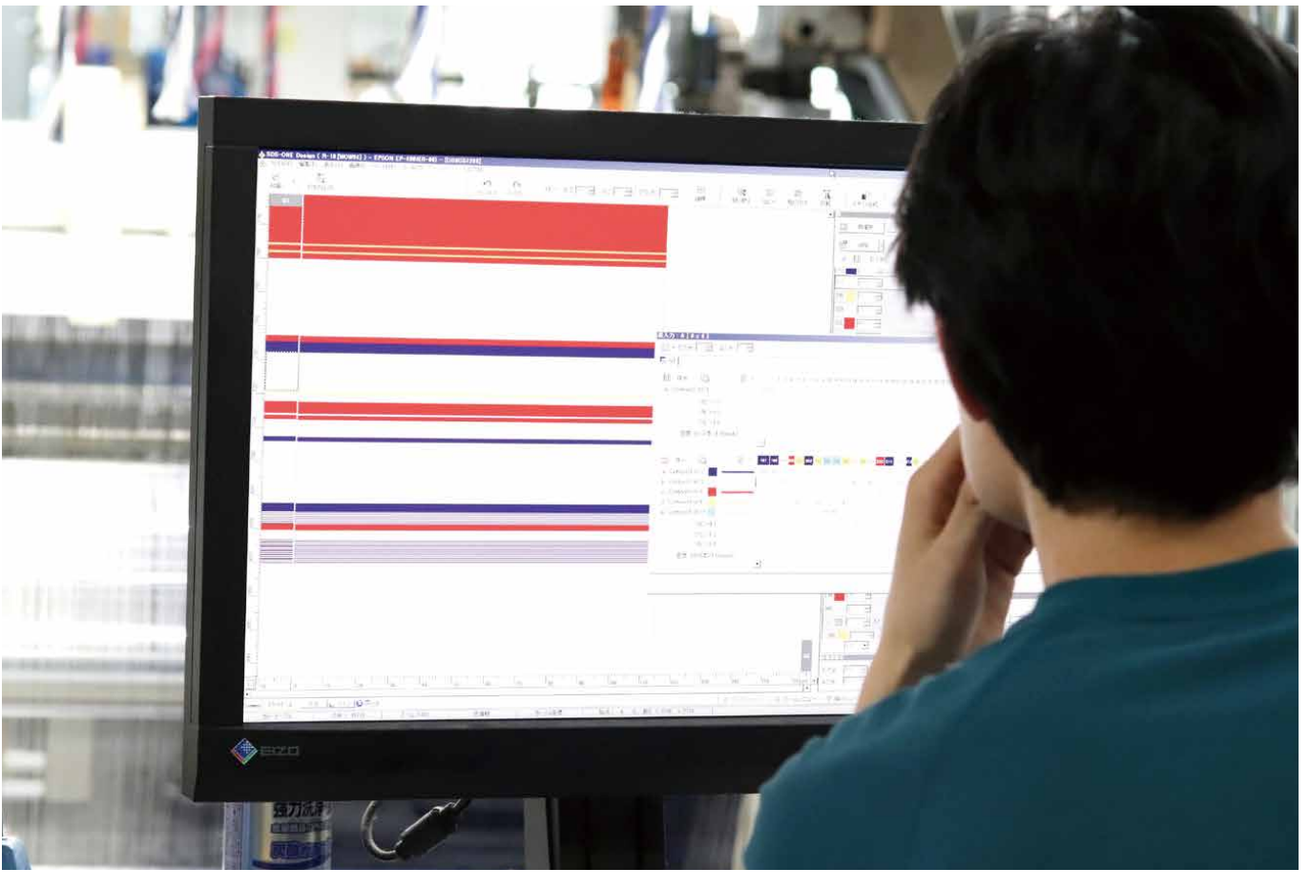
ふわっとさせるために
天日干しして太陽と風
にさらしています。

唯一無二のイッテンモノ



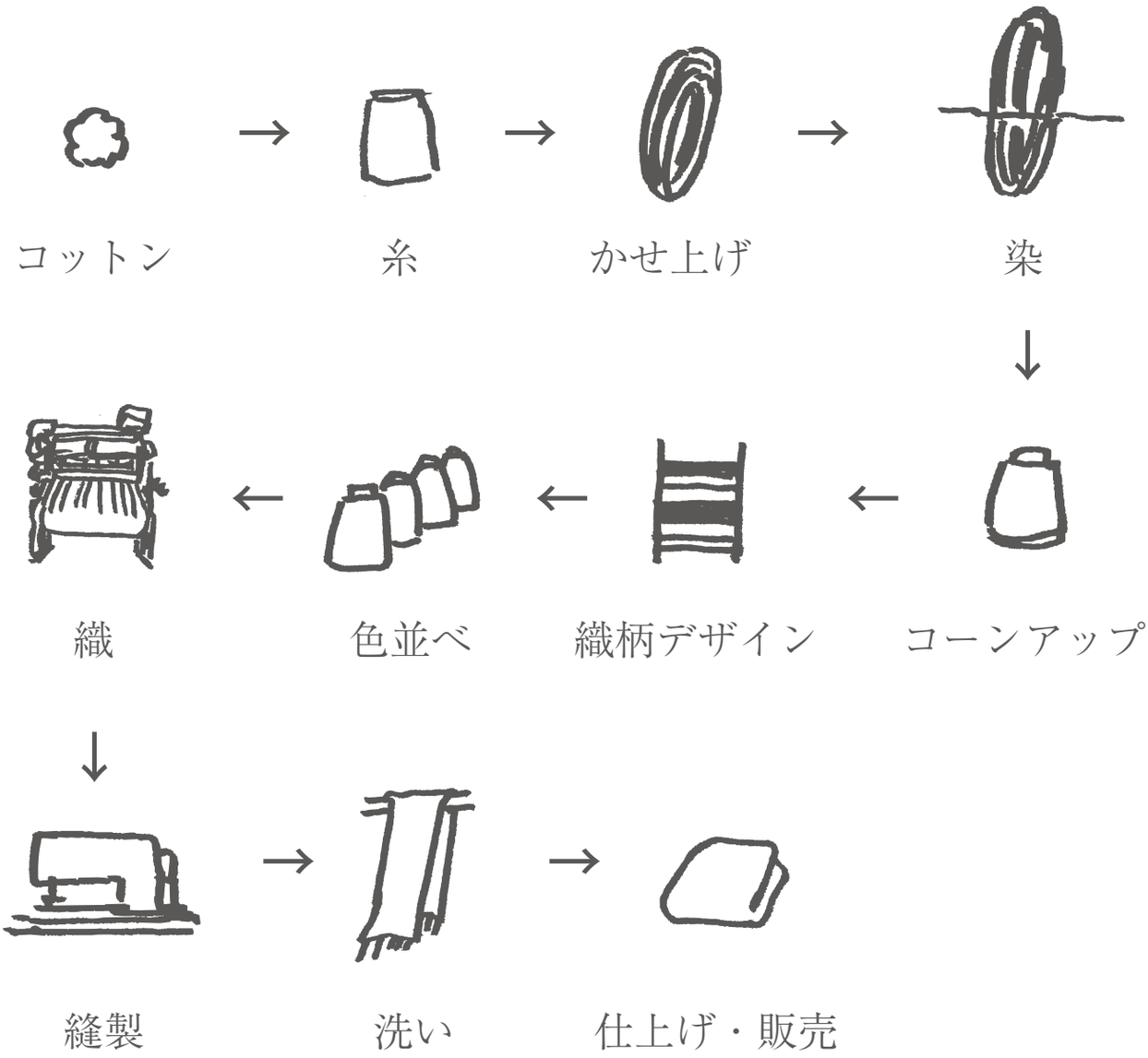
tamaki niime のショールはイッテンモノ。
イッテンモノにするために、
常に色と柄を変えながら織っています。

購入する糸は色数が限られていますが、
tamaki niime の染チームが微妙なニュアンスの色糸やムラ染の糸をつくってくれます。



織チームが常にボーダー柄のデザインを
出し続けています。

ショールができるまで



巻き方いろいろ

まずナナメにショールを持つことがキレイに巻くコツ！

↓

たらし巻き

一重巻き

通し巻き

①2つ折にして持つ

②2つ折のまま首にかけ、
「わ」をつくる

④「わ」から
もう片方を通す

結び巻き

①首にかける

②交差させる

③上のショールを下に
くぐらせて上から手前に出す

くるくる巻き

①まず一重巻きに

②ショールの端を
片方ずつ

③巻きに入れ込
んでいきます

クロス巻き

①まずは通し巻き
の状態に

②片方を出し、

③逆側から入れて

④出します

ショールをいろいろ選べるページはこちら

コットンショールの

種類いろいろ

roots shawl BIG

¥12,000

一番大きい形。はおりとしても便利。

roots shawl MIDDLE

¥6,000

BIG の長さはそのまま、

幅を半分にしました。

roots shawl SMALL

¥2,000

BIG の 4 分の 1 の大きさ。
実店舗のみの販売。

basic shawl BIG

¥12,000

定番な色の組み合わせのショールを
31 通り考えました。

print shawl BIG

¥15,000

roots shawl の上に
プリント柄を載せました。

print shawl MIDDLE

¥8,000

print shawl BIG の幅半分サイズ。

only one shawl BIG

¥19,000

力織機で織った、
tamaki niime の特別なショール。

mocotton shawl MIDDLE

¥10,000

ウールのようなボリュームと質感の
コットンショール。

ショールをいろいろ選べるページはこちら